

中央支部だより

発行者
笠間市社協中央支部
編集
中央支部広報委員会
印刷
(有)シーエス

一年ぶりの 福祉バザー

11月20日は、新型コロナウイルスが少し落ち着いていたなかで、感染対策をしつかりとりながら福祉バザーが開かれました。昨年に続いて今年も中止かと危ぶまれましたが、一ヶ月遅れで一日だけの開催と規模を縮小して、皆様から多くの出品をいただき開くことが出来ました。

当日は、一年ぶりということもあり開店前からたくさんのお客様に今か今かと待ちいただきました。

開店時には、検温、消毒、ポリ手袋の着用などの感染対策をしつかりとって、各自お気に入りの買物を楽しんでもらい大盛況でした。なかでもお子様づれの方、若い方々、巣ごもり状態で外出の機会が少なかったせいか舞台でのレンジャーショー、お買い物と、うれしそうに歩いている姿が印象的で、このままコロナが収束してくれば良いなど皆で話してホッとした一時でした。

例年ですと食品も大きな売上げを占めていたのですが、今年はお祭が一日だったので赤飯のみの販売とな



り、例年の三分の二の量ではありましたが、お客様が行列を歩いて全員に渡せるかとうれしい心配もしました。

コロナ禍の中でのバザーでいろいろ心配もありましたが、何事も無く終了する事ができ全員安堵しました。

来年こそコロナも収束して安心して開催が出来ることを祈っています。

福祉バザー販売に関わって

西町一 村上 美保

昨年度は新型コロナウイルス感染症拡大に伴い中止されていた「ふるさとまつりinかさま」が、11月20日に開催されました。中央支部も友部公民館広場にて福祉バザーに参加しました。

新型コロナウイルス感染症対策として、出店者（従事者）、来場者もマスク及びゴム手袋の着用、手洗い、消毒の徹底、金銭の収受はトレーを用いる等、直接接を控えめました。

来場者の中には、エコバック持参の方や、小銭をたくさん用意してきてくれた方もいました。品物を見ながら冗談を言って笑わせてくれたり、ねぎらいの言葉をかけてくれたりして、楽しく販売の仕事をすることが出来ました。ありがとうございました。



高齢者親善交流会

10月5日（火）柿橋グラウンドにおいて、60歳以上を対象とした高齢者の親善交流会を開催しました。朝から晴天に恵まれ、スポーツをするには絶好の日和。前日からの準備も整い、コロナ対策の検温・手指の消毒・マスク着用をしっかりと行って、9時30分に試合を開始しました。

グラウンドゴルフの部には40名（男18名・女22名）が参加し、2コース（16ホール）に挑戦しました。途中10分程度の休憩を挟み、最後まで気持ちよくプレーできたようです。ホールインワン達成者は9名でした。

また、輪投げの部には17名（男10名・女7名）が参加しました。各自、十分に練習を行ってから、3m・4m・5mに挑戦しました。距離や方向が定まらず、思うようなスコアを出せなかった方もおられたようです。

コロナ対策を十分意識し和やかな雰囲気の中、今年度の親善交流会は、怪我等もなく全日程を無事に終了することができました。閉会式の後、昼食のお弁当はコロナ感染予防のため、お持ち帰りいただきました。

以下、各競技ごとの成績です。

○グラウンドゴルフ

男性の部

- | | |
|------|--------|
| 優勝 | 佐藤 文雄 |
| 準優勝 | 須藤 恒吉 |
| 第3位 | 中塚 孝七 |
| 第4位 | 藤川 才次郎 |
| 第5位 | 仲見川 国夫 |
| B B賞 | 小林 和則 |

女性の部

- | | |
|------|--------|
| 優勝 | 藤川 明子 |
| 準優勝 | 佐藤 トミ子 |
| 第3位 | 安達 洋子 |
| 第4位 | 稲毛 トク |
| 第5位 | 鈴木 のり子 |
| B B賞 | 長谷川 悦子 |

◎ホールインワン達成者

男性の部

2名

女性の部

7名

- | | | | | | | | | |
|-------|--------|--------|-------|-------|-------|-------|--------|-------|
| 須藤 恒吉 | 仲見川 国夫 | 佐藤 トミ子 | 稲毛 トク | 安達 洋子 | 秋山 文江 | 藤川 明子 | 山崎 喜美子 | 市毛 茂子 |
|-------|--------|--------|-------|-------|-------|-------|--------|-------|



○輪投げ

男性の部

- | | |
|-----|-------|
| 優勝 | 井川 征雄 |
| 準優勝 | 篠原 次郎 |
| 第3位 | 桑野 勝雄 |
| 第4位 | 久野 正雄 |
| 第5位 | 入江 廣 |

女性の部

- | | |
|-----|--------|
| 優勝 | 神永 ます |
| 準優勝 | 町井 八千代 |
| 第3位 | 飯田 弘子 |
| 第4位 | 塩畑 初江 |
| 第5位 | 田中正子 |

○特別賞（米寿）

- | | | |
|--------|-------|--------|
| 藤川 才次郎 | 成田 和子 | 宇都野 澄子 |
|--------|-------|--------|



一年をふり返って

支部長 荒張 晴夫

皆様には、日頃社協中央支部の運営に御協力を頂きありがとうございます。

さて、令和三年度の支部活動をふり返ってみると、前年度に続いて新型コロナウイルス感染の為に、予定していた行事を満足に進めることが出来ませんでした。配食は休みの月がありました。会議、委員会等は活動の拠点である研修室も人数制限の為に開催することが出来ませんでした。社協バスでのしあわせサロン散策、各種研修など全て中止となりました。残念でなりません。その中で高齢者親善交流会は屋外での活動のため10月5日に参加者57名で行われ、出掛ける事の少なくなった各クラブの皆様に喜んで頂いたことは幸いでした。

また、開催が危ぶまれていた「ふるさとまつり in かさま」での福祉バザーも、一ヶ月遅れで規模を縮小しましたが、皆様の善意の出品により無事開催できたことは、来年に繋がる希望となりました。

新型コロナウイルス第六波に入り、まだまだ先が見えません。その中でも役員一同収束を願いつつ、次年度も頑張りますのでよろしくお願いいたします。

女性部長 高田 眞弓

昨年からコロナにふりまわされ、いまだに収束する気配もなく、さらに新しいオミクロン株が出てきました。コロナ禍により、会議や活動の自粛を余儀なくされました。支部の活動である配食は、調理者

の数を減らして続けましたが、厳しい状況で、何回か休みました。しかし、このような状況だからこそ孤立化を防ぐためにも続けたいと、願うばかりでした。

10月にいつも開催の高齢者親善交流会は、屋外のため消毒や3密を避けることができて、参加された方の笑顔が、嬉しかったです。

11月には急に決定された「ふるさとまつり」。バザーの品物など期間が短い中、地域の皆様の協力によりたくさん品物が集まり感動でした。そして、当日も支部の皆様の協力により、赤飯などもおいしくでき好評でした。

コロナ禍により、いろいろな制約を受けていた中で、開催できたことは、大きな喜びでした。

しかし、新しい変異株が急速に拡大し、第六波に入りつつある今、再び不安の中にいます。一刻も早くコロナが収束し、活動が再開できることを願っています。感染防止を講じ、少しでも多く活動ができるように努力してまいります。今年もよろしく願いいたします。

あとがき

中央支部だより121号を皆様が無事届けることが出来、ほっとしています。一年間、ご協力いただきありがとうございました。

さて、オミクロン株が第六波となつて拡散しています。三回目のワクチン接種が急がれています。家籠りが長いので自然界の変化に疎くなりがちです。しかし確実に光は強くなり、日は長くなっています。胸を開いて深呼吸をしたいものです。

（持丸）